

市民主役の生活安心都市

1

- 子育て支援の充実
 - ◎幼保連携型認定こども園や保育所など保育需要の高い地域に施設整備を進め、保護者が不安なく子育てと仕事を両立できる保育環境の充実を図ります。
 - ◎放課後学童クラブの環境整備を推進し、民間施設の借上げを行っている施設の改善を引き続き実施します。
- 健康福祉政策
 - ◎最新の情報による医療のガイドブック(こどもの救急ミニガイドブック)などを作成し、受診しやすい情報の提供に努めます。
 - ◎健康診断やガン検診など受診率の向上に努め、市民の健康づくりと介護予防を促進します。
 - ◎介護が必要な高齢者、在宅療養患者、障がいのある方やその家族の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域のケアシステムを推進します。
 - ◎障がいのある人の自立を支援し、就業支援や社会参加などを推進します。
- 市民の生命・財産を守る
 - ◎防災・農業・漁業：環境の視点から、市民の安全安心を齋かず潮受堤防水門の開閉に反対します。
 - ◎防災行政無線(第1期計画)の整備と新諫早消防署、消防会館の建設を行い、総合的な防災体制の整備を図ります。
 - ◎本明川の治水対策と水資源確保のため、本明川ダム建設事業を推進します。
- 生活支援対策の充実
 - ◎省エネ住宅リフレッシュ制度を創設し、省エネを促す住宅改修を推進します。
 - ◎公共施設のマネジメント事業(長寿化、機能再編、利用の効率化)に取り組み、維持管理補修を民間などに委託し、国の制度を活用し雇用の創出を図ります。
- 地産地消
 - ◎市立小中学校の完全給食化に伴い、安全安心な農水産物を提供することにより地産地消を推進します。
- 近隣自治体との連携
 - ◎定住自立構造を基に近隣自治体との連携を研究・推進します。

自然との共生

7

- 自然エネルギーの利用促進
 - ◎小水力発電などの自然エネルギー利用の導入を研究・推進します。
- 豊かな自然の保護と活用
 - ◎森林の多様な効能を活かすために森林の広域化・複層林化などを進め、自然体系の回復を図ります。
 - ◎ツクシシャクナゲの群生など豊かな森林を活用し、山歩き観光など新たな観光人口の拡大を進めます。
- 環境保全型農業
 - ◎減農薬農法などによる環境にやさしい農業を推進します。
- 山間地域・耕作放棄地の活用
 - ◎農業の多面的機能を維持するため偏農地の保全、農業の集団化・組織化を推進し、快適な農村環境の整備に取り組みます。
 - ◎イノシシなどのいわゆる有害鳥獣の駆除を継続して推進します。
- 急傾斜地保全対策への支援
 - ◎市民が行う急傾斜地保全対策事業への支援制度を研究します。

誇りの持てる「諫早」

6

- 諫早の魅力発信
 - ◎道の駅など地域の地場産品の販売や観光情報を発信できる施設整備を支援します。
 - ◎「みかん祭り」や「牡蠣まつり」など特産品の販売促進を支援します。
 - ◎諫早ビタミンプロジェクト事業の拡充を研究し推進します。
 - ◎諫早を訪れる人々に、効果的に諫早の魅力をアピールし、回遊してもらえるような取組みを推進します。
- 諫早ブランド化の推進
 - ◎国体などを契機として諫早じまんスイーツなどを研究し、新たな諫早産品の開発を支援します。
 - ◎生産・加工・流通・販売体制を強化し、ブランド化を促進することで所得の向上を目指します。
- 文化活動の充実
 - ◎市民が日々の音楽や演劇などの活動を発表できる施設を整備し、芸術文化の振興を図ります。
- 地域伝統文化の継承・発展
 - ◎地域伝統文化を継承・発展させるための支援策を継続して推進します。
 - ◎長崎街道・諫早街道など貴重な歴史的資産の保存整備と活用に取り組みます。
 - ◎諫早市の歴史と文化を学び、市民の作品を発表するための(仮称)歴史文化館の整備を推進します。
 - ◎郷土資料の調査研究を推進するとともに、諫早市の歴史・伝統・文化の情報発信を推進します。

将来を見据えた社会基盤整備

2

自立できる都市へ 希望と安心のまちへ

つの柱

諫早駅周辺整備

- ◎平成34年の新幹線開業を見据え、諫早駅周辺の再開発のための事業用地の確保を図ります。
- 市民の足の効率的な確保
 - ◎路線バスや鉄道と連携した地域の移動を確保する乗合タクシー事業を推進します。
 - ◎諫早駅が新幹線駅として開業することを見据え、島原鉄道を含めた交通体系の研究を推進します。
- 生活道路の整備
 - ◎安全で快適な交通を確保するため「人にやさしい」生活道路の整備を行います。
- 高速交通ネットワーク整備
 - ◎国道・県道・幹線市道の連携整備を進め、主要渋滞箇所の改良や長田バイパスの延伸、多良見地域の国道207号整備推進など、長崎県全体に波及する県央の交通拠点としての機能形成に取り組みます。
- 新たな土地利用計画の推進
 - ◎市街地調整区域の開発要件の緩和を進め、40戸連担制度の拡大を図り土地利用来進めます。

民間活力を発揮できる都市

3

輝くひとづくり

- 学校教育
 - ◎平成25年9月から市立小中学校において、完全学校給食を実施します。
 - ◎小栗小学校整備事業を促進し、小中学校の学校施設耐震補強・老朽改修事業を実施します。
- 平和教育推進
 - ◎様々な機会を通じて、人権意識の高揚・平和教育の推進を図ります。
- 生涯学習
 - ◎生涯学習・シルバー世代などの活躍の場として、活動拠点の整備など市民が積極的に活動できる環境を整備します。
- シルバー世代の活躍
 - ◎高齢期を新たに出発点として多様な生きがいづくりの支援を展開します。
- スポーツコンベンションなどを活用したスポーツの振興
 - ◎諫早市をメイン会場に開催する長崎がんばらんぱく大会を成功させます。
 - ◎諫早市中央体育館(内村記念アリーナ)や県立総合運動公園など新たな施設も活用したスポーツの振興を図り、スポーツコンベンションなどを活用したスポーツ交流人口の更なる増加を目指します。
 - ◎新野球場・テニス場など多様なスポーツ・レクリエーション施設の整備を促進します。
 - ◎J2のプロサッカーチーム「V・ファーレン長崎」の活動を支援し、全民的なサポーター意識の醸成を目指すとともに、市内の経済活性化につながるような取り組みを推進します。
- 市民協働・男女共同参画社会の実現
 - ◎男女共同参画のための条例制定を目指します。
 - ◎グループや団体など市民の自主的なまちづくり事業に支援する補助制度を継続します。
- ボランティア・NPO等活動推進
 - ◎ボランティアやNPOなど市民の自主的活動を支援します。

効率的で温かい行政

4



全市域が密接に連携した行政の運営(集中と分権)

- ◎防犯灯維持費の負担など、地域間の調整をきめ細やかに進めます。
- ◎各支所区域の活性化のために住民参加型で、自由に使途が決定できる支援策を継続します。
- ◎衆議院選挙区の区割り見直し問題に関して、諫早市を分割することに断固反対します。
- ムダを省いた市民目線の行政
 - ◎時代の変化に即応した体制となるように、事業をゼロベースで検討し、組織体制の見直しを積極的に推進するとともに、監査体制の充実を図ります。
 - ◎丁寧でわかりやすい諫早市ホームページを研究し、ITを活用した情報発信力の強化を推進します。
 - ◎体育馆など公共施設の利用状況が検索できるシステムを更に充実します。
- 地元企業を大切に
 - ◎公共交通サービス等を優先発注するとともに、小規模工事契約希望者向けの登録制度を活用します。

希望と安心のまちへ

生活密着宣言

市政公約

公約の実現のため
市民の皆さんとともに
取り組みます。